

第7回 岳北地域の高校の将来像を考える協議会 次第

日時：令和元年11月6日(水) 11:00～

場所：飯山市役所 4階 全員協議会室

1 開 会

定刻になりましたので、第7回岳北地域の高校の将来像を考える協議会を開催します。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。

2 あいさつ

足立 会長)

お疲れさまです。第7回の会議を当初10月に予定しておりましたが、台風19号の被害により延期させていただきました。今回の台風被害により欠席の委員の方もいらっしゃいますが、飯山市におきましては、近隣市町村からのご支援や、ボランティア活動をしていただきまして、この場をお借りして御礼を申し上げます。大変ありがとうございます。

さて、今まで6回にわたり協議を行ってきたわけですが、2案についてそれぞれのメリットデメリットを整理いたしまして、要望事項等まとめていければ思っております。それを踏まえて事務局からこの後、たたき台としてご提案させていただきますので、議論をお願いしたいと思います。今日の会議で1案に絞りたいと思っております、それに基づき、住民懇談会をそれぞれ開催する中で、要望を最終的にまとめていこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

3 協 議

(1) 岳北地域高等学校の教育施設のあり方と意見要望概要について

【資料】飯山市教育委員会教育部 常田部長より説明

足立 会長)

今までの議論を踏まえて、2案それぞれのメリットデメリットを整理させていただきました。将来下高井農林高校の教育施設を残すという観点、それから、岳北地域の産業を担う人材育成のためということで、今回ご提案させていただきました。

ご意見等、ありますでしょうか。

日臺 副会長)

大筋このような形でいいかと思います。これまで議論してきたとおり、今回の再編は統合や縮小というように捉えるのではなく、地域の活性化に繋がる高校教育のあり方の基をしっかりと作っていく機会と捉えて、前向きに高校の将来像を検討していけるようなになればいいなと思います。

小林 木島平村教育長)

今までの話し合いの中でまとめた資料をいただいたわけですが、この方向でぜひお願いしたいと思います。

富井 野沢温泉村村長)

野沢温泉村は高校の所在地ではないので、最終的には所在地である飯山市、木島平村の要望に沿っていきたいと思います。ただ一つ心配なのは、飯山高校の普通科のクラスが減ってしまい、競争力が落ちるのではないかとことです。そういった点も配慮していただいて、我々は協力をしていきたいと思います。

岩上 野沢温泉村教育長)

村長と同じ意見であります、私としては、地域キャンパス化になった時に、この教育内容を前向きに検討していただければと思います。

森重 栄村副村長(村長代理))

それぞれの高校の独自性を明確にして、より魅力ある高校になるよう努めるというのが、いいのではないかと思います。前回も申し上げましたが、本校や分校という名称では馴染まないと思いますので、キャンパスという名称がいいのではと思います。

石澤 栄村教育長)

生徒が減少していくというのが事実ではありますが、それによって子どもたちの選択肢が限定されるというのは困ることです。子どもたちの多様性を確保できる方針にしていいただければと思います。

長瀬 飯山市教育長)

この協議会のスタートは、平成28年に各市町村長さんと集まった時であり、その頃からキャンパス化がいいのではという流れがあったわけですが、この協議会で委員の皆さまからご意見をいただいて、こういった形に繋がったことは感無量でございます。

下高井農林高校の伝統と、この地域には卒業生がたくさんいるということは確固たる事実であります。ですので、キャンパス化で下高井農林高校が再生をして、中学生の第一希望で行くような高校になることが新しいスタートに繋がると思います。その為にも、県には最大限の配慮をいただきながら、財政的な面・人材的な面、両方からご支援いただければありがたいと思います。

足立 会長)

各市町村からご意見をいただきました。その他ありますでしょうか。

伊東 副会長)

私は両校をしっかりと存続していただいて、地域経済への貢献も含めて在り続けてほしいという思いでしたので、このまま進めていただければと思います。

日臺 副会長)

今、伊東副会長からご意見をいただきましたが、下高井農林高校では現在資格取得教育に力を入れておりますので、そういった面では周辺の産業界だけではなく、知識や経験、技術を持った皆さんに下高井農林高校の環境を支援していただく体制を、これから益々お願いしたいと思います。

足立 会長)

ありがとうございます。他にありますでしょうか。

ないようでしたら、この協議会については、B 案の地域キャンパス化を県へ要望していきたいと思

います。要望事項もいくつかあるわけですが、これを中心にし、他にあれば適宜追加させていただこうと思います。

(2) 住民懇談会開催の予定について

常田 飯山市教育部部長)

続きまして、住民懇談会について、口頭で説明させていただきます。今回の意見を重視し資料を作成しまして、11月末頃に、1市3村でそれぞれ住民懇談会を開催したいと思っております。資料・日程等について委員の皆さまにお送りさせていただきますので、またご意見等をいただければと思います。

足立 会長)

説明がありましたが、このような形でよろしいでしょうか。資料が届きましたら各自確認していただき、ご意見等いただければと思います。

(3) その他

足立 会長)

その他、皆様から何かありますでしょうか。

岩上 野沢温泉村教育長)

県の事務局の方に来ていただいておりますので、よろしいでしょうか。

要望事項ということで、資料の教育内容について、ご意見等伺えればと思います。

県事務局)

今までの協議会を聞いておりまして、委員の皆さまの両校に対する熱い思いを痛感したわけであります。

先程ご意見いただいた件であります、「高校改革～夢に挑戦する学び～」のP18にありますが、「例えば専攻科等、高校を卒業した生徒の産業教育に関する学びの場の設置について、本県の産業人材育成の動向を踏まえながら検討を行う」ということで、今後検討していくという形になります。

下高井農林高校、飯山高校の関係ですが、来年再来年に地域キャンパス化になるというわけではありませので、しばらく両校で、どのような形での連携ができるのか、地域の皆さまのご協力を得ながら、これからの子どもたちに学びの場を作っていければと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

足立 会長)

他にありますでしょうか。

特になければ、本日は閉会とさせていただきます。

4 その他

・次回開催日程について _____ 月 _____ 日 () _____ 時～
住民懇談会後、日程調整し通知予定とし終了。